



## 「一つ一つの言葉掛けを大切に」

校長 西澤 武

さて、国の緊急事態宣言の延長を受け、臨時休校も延長が決まりましたが、保護者の皆様にはお子さんの健康面、学習面、生活面などにご配慮いただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校措置に子供たちの歓声はなく、学校はひっそりと静まり返っております。ウィルスの収束が見えない現状のもと、我々大人だけでなく、子供たちも不安を抱えながら毎日を過ごしていることと思います。

報道を見ていますと、医療従事者をはじめ、命がけで人々のために職務に当たっている方々への感謝の言葉を耳にします。ご家庭で過ごす時間の多くなった今、時には思いがけず、その時の感情で心無い言葉をお子さんにぶつけてしまうことはないでしょうか。

### ◆親の言葉は盾にもなるが、ときに剣にもなる

お子さんに言うことを聞かせたいと思うとき、何度言っても聞かないのなら、その声を強めるしか方法はない、そんな気がしてしまうかもしれません。でも、実際には、むしろ強く激しく言うことで事態は悪化していきます。良くも悪くも、影響力が非常に大きい、それが親の言葉です。言葉のエスカレートを防ぐためのポイントとしてあげられるのは、次の2つです。

#### ① はじめの反応に注意する

毎日、無数に繰り返している、親の言葉⇒子供の反応⇒親の言葉⇒子供の反応……。多くの場面で、はじめのひと言がカギを握っています。大事なのは、はじめにどんな言葉を掛けるかで、その後の流れが大きく変わってきます。いいスタートはいい結果を生みます。悪いひと言は、悪い方向へエスカレートします。叱るときは、子供の行動に目を向け、その子の存在を否定するような言葉掛けはしないよう心掛けましょう。

#### ② ルール違反だけに目を向けない

しかし、実際には、事が起こったときに対処するだけでは不十分です。問題が起こってから、言うことを聞かせようと大声で叱っても大した効果はありません。効き目がないから、子供が言うことを聞くまで怒鳴り続けることになってしまうのです。つい子供が“ルール違反”をしたときに、「それダメでしょ」「約束と違うよ」と飛びついてしまいがちです。

一方で、ルールを守れている時間は、見逃してしまいます。子供は、起きている間中、いろいろなことをしていますが、100%悪いことばかりをしている子はいません。どんなに言うことを聞かないと手を焼いている子でも、穏やかにしていたり、笑ったりする瞬間も、少なからずあるはずで。

言葉のエスカレート、ひいてはトラブルを防ぐには、叱る場面以外で子供の心に触れるような行動を取るのが有効です。たとえば、スキンシップをする、遊ぶ、一緒におやつを食べる。このような、子供が「嬉しいな」と思うことを盛り込んで、心に触れていきます。すると、反抗したり、すねたりする数が減り、親が言葉を荒げる頻度も改善されていくのです。

はじめのささいなひと言が、あれよあれよと膨れ上がり、言葉の暴力、そして、親子関係のこじれのリスクを踏まえ、「一つ一つの言葉掛けを大切に」お子さんと接していくことがやはり大事なのだと思います。

## 休校延期に伴う登校日について

休校の延期に伴い、今後は1週間に一度登校して課題を提出するとともに、お子様と担任とが顔合わせをする機会をとってまいります。本日、3週間分の課題を配布しました。学年だよりで示された課題を毎週持ってくるようにしてください。また、区からのプリント（自主課題）を追加して配布する場合があります。延長期間中も、規則正しい生活が送れるよう引き続きご家庭でのご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

① 1回目 5月11日（月）本日 3週間分の課題配布  
課題（4月に配布したもの）回収

② 2回目 5月19日（火）1週目の課題回収  
A… 9：00～10：00 の間  
B…10：00～11：00 の間  
C…11：00～12：00 の間

③ 3回目 5月26日（火）2週目の課題回収  
A… 9：00～10：00 の間  
B…10：00～11：00 の間  
C…11：00～12：00 の間

※6月1日（月）学校再開が延長した場合

④ 4回目 6月2日（火） 3週目課題回収  
A… 9：00～10：00 の間  
B…10：00～11：00 の間  
C…11：00～12：00 の間

※A、B、Cのグループ分けにつきましては、各学級より手紙が配布されています。そちらを参照してください。

※課題の詳細については学年だよりを参照してください。

※区からのプリントは自主課題となります。学校に提出はしません。家庭学習で活用してください。

